



「自己実現と役割」

教頭 山崎 幸則

心理学者アブラハム・マズローは「人間は自己実現に向かって絶えず成長する生きものである」とし、人間の欲求を5段階に理論化しました。下図のように人間には5段階の「欲求」があり、1つ下の欲求が満たされると次の欲求を満たそうとする基本的な心理的行動を表しています。

第1段階：生理的欲求

生きていくために必要な基本的・本能的な欲求

第2段階：安全欲求

安心・安全な暮らしへの欲求

第3段階：社会的欲求

友人や家庭、社会から受け入れられたい欲求

他者と関わりたい、集団に所属したい欲求

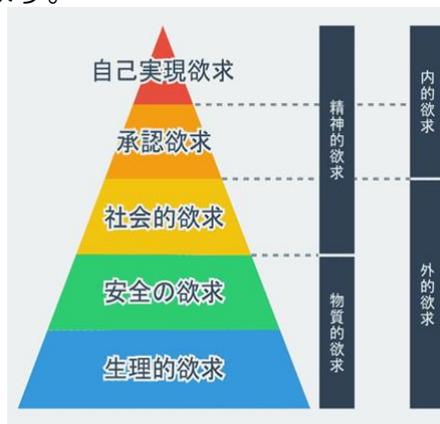
第4段階：承認欲求（尊重欲求）

他者に尊敬されたい、認められたいと願う欲求

この欲求が妨害されると、劣等感や無力感などの感情が生じる

第5段階：自己実現欲求

自分の世界観・人生観に基づいて、「あるべき自分」になりたいと願う欲求



人間と他のすべての動物との違いは、「自己実現の欲求があるかどうか。そして、人が尊いのは、その実現に向けて努力できること」であるような気がします。高校3年間は特に進路目標の達成（自己実現の欲求の達成）に向けた3年間であると思います。

また、人には「社会の中でよりよく生きる役割」があります。長所を活かして、「どうやって世の中の役に立つのか、人の役に立てるのか。」社会をよりよいものにしたいという自己超越の欲求を実現することです。これは働くことでしか果たすことができません。

さらに、人は誰でも役割を持って生まれてくるとも言われます。昨年大河ドラマ「青天を衝け」において、徳川慶喜は「人には生まれつきの役割がある。隠遁は私の最後の役割だったのかもしれない」と静かで重い告白をしますが、このシーンは頭から離れず、記憶の中にずっしりと残っています。

2月も終わりに近づき、1、2年生は次の学年へ向けた準備に日々勤しんでいることと思います。そして、68回生の皆さんはいよいよ卒業を目前に感慨深く過ごしているのではないのでしょうか。上高生の皆さんが、自己実現の欲求を果たしながら、自分の生きる役割を探し見つけ、今後も自分の未来を創造して欲しいと願っています。

1学年より

1年生として過ごす日々も残り1か月となりました。「2年生0学期」の一つの取り組みとして、先日14日にリモートで進路別の講演会を行いました。生徒たちは熱心にメモを取りながら一人ひとりが自分の進路について、またこれから身に付けなければいけない力について真剣に考えているようでした。どちらの講師の先生方にも共通していたのは、勉強や日々の生活など目の前のことに真剣に取り組むことが全てのことに繋がっている、ということです。大学、短大、専門学校、就職と進路はそれぞれ違っても、これからの世の中を生きていく上で大切なことは変わりません。2月は逃げる、3月は去ると言われるように、これからの毎日はあっという間に過ぎていきます。特に3月は授業がない日も多く、自律の力が問われます。自信を持って2年生になれるよう、今やるべきことにしっかりと取り組んでいきましょう。

2学年より

2022年になって、早くも2か月が経過しようとしています。皆さんが年越し早々に立てた今年の目標については、行動に移すことができているでしょうか。また、目の前には卒業式が迫っています。小さい頃から身近にいたのが当たり前だった先輩方。そんな先輩方がもうすぐこの島を巣立っていきます。学校行事、部活動等々今までお世話になった先輩方に恩返しができるのもあとわずかです。

4月になれば69回生が最高学年となります。去年の年度当初の学年集会で皆さんに求めた「カッコいい先輩像」に少しでも近づけるように、「身」も「心」も成長した姿で4月を迎えてほしいと思います。あと1か月しっかりと準備をしていきましょう。

3学年より

68回生の皆さんはここまでの道のりを振り返ってどう感じているでしょうか。いよいよ、3年間過ごした学び舎を巣立つときが迫ってきました。また、春から島外で新生活をスタートさせる人も数多くいます。島仲間と友に過ごす時間も、あとわずかです。最後に皆さんに伝えたいのは「ふるさと」への思いを大切にしたいということです。多くのアーティストが自分の郷里を題材にした作品を世に出していることからわかるように、誰にとっても「ふるさと」は特別なものです。これからどのような人生を歩もうと、皆さんのルーツは故郷にあります。今後、様々な困難に直面したときに、それを感じることがあると思いますが、ぜひ、そのルーツを大切にしてください。きっと皆さんを助けてくれます。かなり実感のわきにくい話を書いてしまいましたが、ぜひ覚えておいてくださいね。

校内マラソン大会代替記録会



1月26日(水)、上五島高校グラウンドで令和3年度校内マラソン大会代替記録会が行われました。

本来であれば、新上五島町内の方々の声援を力に変えて沿道を走るところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から校内での実施となりました。

男子は1500m、女子は1000mを走り自己記録の更新と個人・団体の部での入賞を目指しました。

例年とは走る距離やコースは違いますが、練習の成果を発揮しようと全力で取り組みました。団体・個人の3位までの結果は下記のとおりです。

【女子団体】		【女子個人】		【男子団体】		【男子個人】	
1位	1年2組	1位	南 もも	1位	1年1組	1位	坪井 恵音
2位	1年3組	2位	山中 咲和	2位	1年2組	2位	戸川 勝斗
3位	2年1組	3位	田邊 凜	3位	1年3組	3位	近藤 隼汰

1・3年進路講演会



2月14日(月)、1年生と3年生1・2組向けにリモートでの進路講演会が行われました。

長崎県立大学国際社会学部教授の大隈重之先生と元専門学校講師の横山正裕先生から、それぞれの進路に対応し、これからの時代を生き抜くために必要な力や心構えについて説明していただきました。

1年生に対しては、大隈先生から変化の激しい現代社会の中で、自分の夢を叶えるために、まず第一歩を踏み出すことの大切さについて、横山先生からは、コミュニケーション能力に関して、日常で意識すべきことを具体的に示していただきました。

大学生とのリモート交流会(1年生「進取」)

2月5日(土)の土曜学習会終了後、1年生は、県内大学で学んでいる9名の大学生との交流会を実施しました。

来年度の「総合的な探究の時間」に、一年間かけて取り組んでいく地域振興策の原案をリモートでプレゼンテーションし、さまざまな学部で学ぶ大学生の視点から貴重なアドバイスをいただくことができました。



3月の行事予定

1日(火) 第68回卒業証書授与式	16日(水) 高校入試合格発表
5日(土) 土曜学習会	17日(木) 合格者オリエンテーション
7日(月) (午後) 生徒自宅学習	21日(月) 春分の日
8日(火) ~9日(水) 後期高校入試	23日(水) 球技大会
8日(火) ~10日(木) 生徒自宅学習	24日(木) 終業式
11日(金) お魚さばき方教室(1年4組)	
12日(土) ①②土曜学習会	



←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。
ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>